


「イギリスの哺乳類の特徴と保全」と「日英のヤマネ減少の現状と対策」

講演会とミニシンポジウム

開催日時 2019年7月19日(金) 14:00~16:30

開催場所 関西学院大学丸の内キャンパス (東京駅から徒歩1分)



日本と同じ島国であるイギリスには特徴的な哺乳類が生息しています。そして、伝統的に世界を牽引する自然保護の先進国がイギリスです。その「イギリスの哺乳類の特性と保全」を元ロンドン大学の動物学の先生であったモリス博士をお迎えし、「講演」をいただきます。

イギリスではヨーロッパヤマネの減少傾向が続いています。その保護と現状を把握するために国中の市民を巻き込む活動が展開されてきました。モリス博士はその指導者として活躍されてきました。日本でも、八ヶ岳山麓でニホンヤマネの減少傾向が続いています。「日英のヤマネの減少傾向の現状を対策」を話し合うミニシンポジウムをモリス博士とヤマネ研究と保護に取り組んできた湊博士で実施します。



■世界ヤマネ会議 会長 パット・モリス (Pat Morris) 博士

元ロンドン大学動物学 Lecturer、コウモリ権威、ハリネズミも50年以上研究するイギリスの代表的研究者。国際ヤマネ会議の会長を務める世界のヤマネの権威。Nature Conservation Advisory Panel 会長、London Wildlife Trust の副会長、British Hedgehog Preservation の会長などを務めた。80以上の論文、コウモリの本、ヤマネの本などを出版し、2018年はハリネズミの最新本を出版する。ロンドン南には大きなヤマネブリッジ建設に導いた方である。エリザベス女王からこれまでの研究と活動に対し直接、勲章を授与される。



■ニホンヤマネ保護研究グループ会長, アニマルパスウェイと野生生物の会 会長, 関西学院大学教授, SDGs・生物多様性センター長 湊 秋作

小学校教員を務めながら環境教育、湿地の保全、ネズミ・コウモリ・ヤマネ研究に取り組む。現在、多くの仲間と共にヤマネの生態・行動・生理などの総合的に研究に取り組み、ヤマネ保護及び森林保全の具体策研究とヤマネを通じたサイエンス教育、幼児から企業までの環境教育、五感を用いる原体験教育に取り組む。日本環境教育学会役員として国際田んぼ環境教育会議の実行委員長を務め、田んぼの保全と教育に取り組む。アニマルスウェイの研究開発・普及、SDGs と生物多様性保全を展開し、ヤマネ、田んぼ、環境教育に関する多数の著書・論文を出版

会場： 関西学院大学丸の内キャンパス (サピスタワー内)
(東京都千代田区丸の内1丁目7-12、東京駅日本橋口から徒歩1分、電話：03-5222-5678)

定員： 30名、料金： 無料、申込方法： メールで7月17日12時までに下記のアドレスをお願いします
詳細： 13:30 受付

14:00 イギリスの哺乳類の特徴と保全 =ハリネズミも題材として=

15:00 日英のヤマネ減少の現状と保全 ミニシンポジウム

16:30 終了



お申込み・お問い合わせ： ニホンヤマネ保護研究グループ 湊 秋作

E-mail aag33239@kwansei.ac.jp に ①名前 ②性 ③年齢(学年) ④当日連絡がつく

電話番号を送って下さい。定員になり次第、申し込みは終了します。

主催： ニホンヤマネ保護研究グループ、アニマルパスウェイと野生生物の会